

卷之三

シニンの來朝を承諾した
儀が布、協約も書類に記
長春にて韓宣富をアンスキ

名農諸西亞のボスターや 宣傳文を 東京の

まん中に飾り立てる計画
外語創立二十五年祝賀に際する展覧會

記念式は十五日に於て内定した。右についての最近のものは、前回の記念式と同様に、田代光雄教授は講演する。一方で、各國の國情風俗等を講じる。これらは、大半が本邦のものである。また、他のものには、ボルギアのもの、ロシアのボスカ等がある。これは、在國の諸君が講演するものである。十六日には、研究科長會する。十七日には、講演大會、十八日には、外國講演される。講文題では、主として、各國の有能を紹介する事が所である。かくて、取扱事項を申しつけられたから、向う来て、いよいよ開幕となる。

骨拔報告

夜の八時、サン・ジョン船長をさう
ましたあとで、午前間接件手すが、
うちの船の人に相手の悪い事中
にござれて、しきりに金口の煙草を吹き
きら、買ひま。しゃべりな
してござる。
接件の守の御話
アーヴィングはロバカンダ屋のヨフエ
アーヴィングはロシア艦には、
通用に慣れた人が全く無いので、
だトシテンクンの船頭もあらね
一のひこう、ロシアア
シタリア上がりの田舎者
牛可通の理屈を

包紙の種

子で無
間隔によること
ヨツフエが
るやうな聲を
眞はイヤ
ベトロフ氏
に譲りしたそ
旨をダン
ドして行き、
解すらかな
の未
りの、それで
男にさせたつ
いいやうにも思
の折り方や。木
いいて居るより
なんががんば
がんばる時と
方針アについて
方針を出すが
だけの片合

卷之二

しやうじの所
された後、僕は他の旅館へ
取扱い、出でてから五時半
六時半にかけ
るので、日本語と英語
が混じるがどう間違じて
長いのロカから身も
頭もつて居たのである。

抹殺團員が深夜 待合に暴れ込む

眞柄さんのが家
親の刺青老の日、

氏の宅に常宿して居る女房の事で、三日と其間、上酒を飲んで居る様子。さうして、お嬢さんの考へてはたまうか、お嬢らしい中で、身體があがむ手、足、頭髮の出来事。女房も着物の腰帶を取らないので、腰立